取扱暗号資産の概要説明書（ライトコイン）

一般社団法人日本暗号資産等取引業協会 (JVCEA) が公表する「取扱暗号資産の概要説明書」を基に作成しています。
情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

概要書更新年月日	2024年12月3日
暗号資産の名称	ライトコイン
ティッカーコード（シンボル）	LTC
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
保有・移転記録の秘匿性	Scryptアルゴリズムを用いたプルーフオブワーク
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of work Scryptアルゴリズムを用いたプルーフオブワークの仕組みにより、Litecoinブロックチェーンの維持管理に参加する者が、ブロック生成に必要な、およそ2分30秒（150秒）間隔で発見可能な難易度に調整され、かつ完全に確率的で計算コストの掛かる特定のナンス（nonce）を見つけ、Litecoinネットワークに対し伝播することをもって、維持管理参加者が指定するアドレスに対してプロトコルから付与される。
保有・移転記録の最低単位	1 satoshi （ = 0.00000001 LTC）
発行者	なし
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産
発行可能数	84,000,000 LTC
価値移転認証の仕組み	・台帳形式 ・価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する
記録者の信用力に関する説明	記録者が多数であることによって、個々の記録者の信用に頼らない仕組みを構築しているため、価値喪失の可能性はない